

第 1 章 研究の概要

1 研究主題

学力向上を目指した学び合いのある授業の工夫

ー読書指導を基盤とした全教科の取組ー

2 研究主題設定の理由

「確かな学力」とは、基礎的な知識・技能を習得し、それらを活用して自ら考え、判断し、表現することにより、多様な問題に積極的に対応し解決する力である。新学習指導要領の完全実施を目前に控え、学校には、「生きる力」を支えるこの「確かな学力」を生徒一人一人に育成することがこれまで以上に求められている。

このような学校教育に対する期待に応え、教育活動を充実させるためには、これまでの学習内容の見直しと指導法の改善を図る必要がある。この授業改善の視点の一つとして、新学習指導要領では「全ての教科等を通じて言語活動の充実を図ること」が示されている。

そこで、本校では、平成 16 年以降継続して取り組んできた言語活動を充実させるために、その核となる活動として「読書指導」に全校で取り組み、これを基盤として各教科で「学び合いのある授業の工夫」を学力向上のための授業改善の視点として位置付け本研究主題を設定した。

3 研究仮説

新学習指導要領の総則には、言語活動の充実について次の文言が新たに加えられた。

「基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努めなければならない。その際、生徒の発達の段階を考慮して、生徒の言語活動を充実するとともに、(以下略)」

これは、「各教科等の指導は、言語活動の充実を通して行う必要がある」ことを示したものである。

本校ではこれまで、国語科で「話す・聞く」「書く」「読む」といった言語活動を生徒の発達段階に応じて充実させ、①各教科等では、例えば「説明する」「記録する」「要約する」「議論する」等の言語活動を組み込んだ授業を行う研究を進めてきた。また、この言語活動の充実を支えるために、②全校体制で進める「読書指導」を位置付け、各教科・領域等において読書への取組を進めてきた。このことによって、生徒が自らの考えを進んで表現する姿が徐々にではあるがみられるようになってきた。また、生徒は本を読むようになり、本を読むことによって読解力を伸ばすことへとつながってきた。

このようなこれまでの研究成果を踏まえ、本研究では、生徒の学習に対する現状を多面的に把握し、その分析結果をもとに日々の授業の中で言語活動の充実を図ることによって、生徒一人一人の学力をより向上させることができると考えた。

具体的な授業改善の視点として、全教科で生徒の意見発表や意見交流の場面をできるだけ多く設定することとしたが、これは、研修主題にある「学び合い」を具体化したものである。また、この

基盤として、国語科を中心とした読書指導の取組と各教科等で取り組んだ言語活動の二つが位置付けられる。

また、学習に対する現状を把握するための二つの調査とその分析および授業改善の方向性は次の通りである。

- (1) 学力調査：学力調査を通して、生徒の学力の実態を把握する。何ができて何ができなかったか、それはなぜか等を検討する。その検討をもとに「年間指導計画」および「授業の展開や方法」を見直して、授業改善を行う。
- (2) 授業評価：「いい授業をつくるために」（授業評価）のアンケート調査を行い、「授業の受け方」「授業の進め方」について生徒はどのように受け止めているかを知る。その調査結果を踏まえて授業改善を行う。

4 研究の方法

(1) 研究授業

- ・全教員年間 1 回以上の研究授業を行う。
- ・講師を招いた研究授業を年間 3 回設定し実施する。

(2) 授業評価

- ・「いい授業をつくるために」というアンケート調査を 5 月から 6 月にマークシート方式で実施し、集計し課題を分析する。
- ・評価結果の経年変化から授業改善へ向けての課題を把握し 9 月以降の授業に生かす。

(3) 読書指導

- ・朝読書…読書カードで記録し、生徒の意欲を喚起する。また、学級文庫を設置整備する。
- ・道徳授業地区公開講座…課題図書教材として道徳授業を実施する。
- ・読書調査…図書委員会で実施し、読書傾向の集計・分析を実施する。
- ・課題図書…年間 6 冊実施。課題図書の本は学年別に国語科が選定する。
- ・ブックトーク…1 2 月に第 1 学年を対象として平和台図書館と連携して実施する。
- ・読書感想文コンクール…読書意欲を高めるため、コンクール形式で実施する。
- ・国語科における授業の取り組み…年間指導計画に「読書単元」を設定し授業を実施する。

(4) 学力調査

学力調査の結果を各教科における分析及び三者面談の資料として活用する。